

ケアマネ通信

第18号

2023

Aug.

理事長あいさつ

この度、第8期・9期の理事長に就任いたしました諏訪部弘之と申します。

令和5年6月3日の総会において、立候補者の承認がなされ、新たな理事体制となりました。総会終了後、新体制での第1回理事会が開催され、引き続き理事長に選任いただきました。

新型コロナウイルス感染症への対応はまさに特徴的でしたが、2000年に介護保険制度が始まった当初に比べ、私たちの日々の業務は複雑・多岐にわたっています。時代が変わったとしても、私たちは専門職として利用者・家族に寄り添い、一定の援助の質を保てるような工夫をしていかなければなりません。神奈川県介護支援専門員協会は、県域を対象とする職能団体として次の3点について取り組み続けてまいります。

1. 地域単位では解決が難しいことを集約し、県単位の職能団体として、介護支援専門員を取り巻く課題に対応していく
2. ICTやDX（デジタルトランスフォーメーション）、科学的な介護といったテクノロジーへしっかりと対応していく
3. 制度が複雑化する中においても、生活支援者という視点から援助の質を落とさないような取り組みを続けていく

協会は会員の皆様と共に活動していく場です。これからも、皆様と一緒に活動し、ご協力を願いながら、神奈川県介護支援専門員の資質向上を目指していききたいと思います。

今後ともご支援ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



一般社団法人 神奈川県介護支援専門員協会 理事長 諏訪部 弘之

目次

協力団体紹介	2	ケアマネリレーコラム	6
委員会紹介	3	ケアマネあるある	7
令和5年度 本会主催研修の日程	3	編集後記	7
“かまくらびと”の生活支援を考える	4	インフォメーション	8
第7回通常総会報告	5		

協力団体紹介

一般社団法人 横浜市介護支援専門員協議会 加藤 由紀子



一般社団法人横浜市介護支援専門員協議会は2021年10月に任意団体より一般社団法人化いたしました。

活動内容としては、月に1回横浜市健康福祉保健センターにて定例会（役員・18区担当者が参加）の開催や各委員会活動に取り組んでおります。定例会では、横浜市健康福祉局・医療局の方にもご参加いただき、最新の情報確認や意見交換等を行っております。

委員会活動は、「制度対策委員会」「医療連携委員会」「研修委員会」「広報委員会」があり、会員の方であればどなたでも委員会活動に参加可能です。

また、当協議会主催研修の他にも横浜市や外部から研修の受諾や横浜市と協働してケアプラン点検事業の実施、そして横浜市の様々な協議会や検討会に委員を選出、現場の声を届けています。少しずつではありますが、活動の場を広げており、横浜市内で活躍されているケアマネジャーの力になれるよう今後も努力していく所存であります。

委員会紹介

神奈川県介護支援専門員協会 広報出版委員会
委員長 佐藤 明

皆様こんにちは。広報出版委員会、委員長の佐藤です。

今年度は「神奈川県介護支援専門員協会の活動を、会員の皆様にもっと知ってもらおう!」と考え、まずは神奈川県介護支援専門員協会の各委員会を紹介させていただくこととなりました。

初回は私たち、広報出版委員会から紹介いたします。

広報出版委員会は、「介護保険制度上の情報を提供することにより、介護支援専門員の活動をサポートする」また、「協力団体、賛助会員のネットワークを構築し、協会からの情報提供のほか、会員相互間の情報交換を促進する」という目的で活動しております。

年3回の会報誌「ケアマネ通信」の発刊や、中央法規出版より発行される書籍の執筆、編集などをおこなっています。また、毎年11月に開催されている、神奈川県主催の「介護フェアinかながわ」に毎年参加しケアマネジャーの仕事の魅力を発信し、中高年やあらゆる層にケアマネジャーの仕事への理解や関心を高める活動をおこなっています。

ケアマネジャー不足が叫ばれる昨今におきましては、広報としてケアマネジャーという仕事の魅力を発信することや、職能団体としてケアマネジャー同士の繋がりを深める活動は、今後より大きな意味を持つと考えております。

これまでケアマネ通信に記事を寄稿くださいました皆様、表紙を飾ってくださった地域の連絡会の皆様へ感謝を忘れず、これからも会員の皆様に有益な情報を発信するため、広報誌の記事内容の検討や、SNSの活用についても力を入れていきたいと考えております。

今後も「神奈川県介護支援専門員協会に入って良かった」「神奈川県介護支援専門員協会に入りたい」と思っていただけよう、委員一同頑張っております。

令和5年度 本会主催研修の日程

■ケアマネジメント基礎研修部会

◇ 9/9（土）「施設ケアプラン」研修 ◇ 10/28（土）「サービス担当者会議」研修

■ケアマネジメント向上研修部会

◎ 午前「適切なケアマネジメント手法（疾患別）」研修

◎ 午後「適切なケアマネジメント手法を活用した事例検討会」研修

※ 午前・午後の同日開催。午前のみ・午後のみ受講も可。

◆ 9/18（月・祝）「心疾患」

◆ 10/25（水）「脳血管疾患」

◆ 12/20（水）「誤嚥性肺炎の予防」

◆ 1/13（土）「認知症」

◇ 2月頃「コミュニケーション」研修

◇ 3/16（土）「スーパービジョン」研修

“かまくらびと”の生活支援を考える

(特非)かまくら地域介護支援機構 樽井 彰子

介護保険が始まって、四半世紀を迎えるころとなってきたが、発足当初は、介護が必要な高齢者の住み慣れた我が家に専門職のヘルパーが入ることを拓げていくことから、制度施行のはじめの一步でもありました。

当時の鎌倉市は首都圏で働く人々の居住地として、中高年層の人口流入が盛んな地域であり、高齢化率は逗子市に次いで県内第2位を誇っていました。

介護保険制度は、ご承知の通り3年ごとに計画の見直しが重ねられますが、経年と共にケアマネジャーを始めとして、特に住民参加型の訪問介護サービスに係わる人達は、軽度要援護者の生活支援の将来に不安を抱くようになっていました。当時、鎌倉の市民活動や地域助け合い活動によって高齢者を支えてきたヘルパーたちは「丸ごと受け止めてほしい」「生きる意欲を受け止めてほしい」などと、生きる思いをサポートしていました。軽度高齢者の日常生活の支援については鎌倉市も課題と受け止めていました。

身体介護と家事援助？生活支援と身体介護？介護保険が導入され、ややもすれば、私達ケアマネジャーは生活行為への支援がメインとなってしまいがちです。利用者の思いや生きる意欲をどのように支えていくかなどが見えてきました。そこで、ケアマネジャーやヘルパーの有志が「生活支援」について学んでみたいという声が上がリ、近隣の同志によって「鎌倉生活支援研究会」という勉強会が発足しました。メンバーが発題者となり、現長野大学の太田貞司教授を中心に、2010年3月～2014年3月まで全20回の学びの場を継続することが出来ました。

一方、“かまくらびと”と表現したように、サービスの受け手側にも生き方にこだわりがあり、我が人生に悔いなしと豪語する個性豊かな高齢者に、サービス提供側も苦労を重ねる人たちがいたことも事実でした。

高齢者の日常生活を支えるという仕組みとして介護保険制度が開始され、高齢者の生活支援を振り返ると制度内サービスで提供できるのは高齢者の日常生活の一部分であり、社会生活面では地域社会との関わりをどのように広げ、維持し、地域とのつながりを持って生きることを実現させていくかは、制度の限界点であることが明らかとなり、地域包括ケアシステムの構築をどのようにすすめていくかは課題山積でした。

鎌倉市は、市民活動が活発な土地柄でもあり、行政と市民との協働事業について、新たな公共を創り出す施策が展開されていました。2007年の市民相互協働事業へ「在宅高齢者の生活支援サービス調整機関の検討委員会の設置及び運営事業」が採択され、鎌倉市と地域を構成する住民組織や民生委員、介護する家族の当事者団体等と、医療・介護・福祉の専門職、そして行政組織である鎌倉市との円卓会議が始まりました。

高齢者生活支援サポートセンター事業を鎌倉市の社会サービスとして位置付けるには、予算が確保されなければならず、実績を示すために「地域の高齢者を笑顔で支える仕組みづくり事業」としてWAM助成事業に応募し、実績を作り、ようやく2013年7月1日に鎌倉市高齢者生活支援サポー

トセンターとして、市民が市民を支える仕組みとして開設されました。今年は満10周年を迎えます。フォーマルとインフォーマルのサービスを如何にマネジメントしていくかが、これからの大きな課題と思われます。

第7回通常総会報告

会員の皆様のご協力のもと、令和5年6月3日に神奈川県介護支援専門員協会第7回通常総会を開催いたしました。昨年に引き続き、今年度もオンラインにて開催しております。

正会員数 1,114名（令和5年6月3日時点）

出席正会員数 59名

委任状 587通（計646名）

○議案審議結果

第1号議案：令和4年度事業報告（案）及び令和4年度収支決算（案）について

第2号議案：任期満了に伴う監事の改選（案）について

両議案とも、原案どおり承認されました。

○報告事項

令和5年度事業計画及び令和5年度収支予算について

会議等開催状況について

会員入退会状況について

日本介護支援専門員協会活動報告

○基調講演その他

令和6年度の介護医療障害のトリプル改正をテーマに、淑徳大学の結城康博教授より介護支援専門員の展望について心強いお言葉をいただきました。令和5年度も会員の皆様のお声を大事にし、理事会一丸となって当協会の事業運営を行って参ります。今後とも当協会の活動にご協力賜りますようお願い申し上げます。

～神奈川県で働くケアマネジャーが日々思ったことなどを綴っていきます～

ケアマネリレーコラム

あっぶる三ツ境ケアステーション 岩渕 かずみ

会員の皆様こんにちは。綾瀬市地域包括支援センター泉正園の湯山さんよりバトンを頂きました、横浜市瀬谷区のあっぶる三ツ境ケアステーションの岩渕と申します。

東京生まれ、東京育ち。小学校の屋上からマッチ棒の頭ほどに富士山が見えるだけで感動していました。結婚し地方転勤で初めて泥がついたままの野菜が売られているのを見て驚く始末。それでも転勤先々で花を育てる楽しみを知りました。ケアマネになりお客様と季節の花々の話で盛り上がる楽しみは格別です。瀬谷区北部には約3キロ続く真直ぐな海軍道路。米軍の旧上瀬谷通信施設跡地の広大な敷地。大きな富士山を見ながら広い農地の脇をチャリで訪問をしていると、「こんな贅沢な空間!幸せ!」と18年たった今でもこの道を通ると新鮮な気持ちになれます。

瀬谷区は大和市と町田市に隣接する横浜の端。地の利から事例検討会では市内に限らずいろいろな地区のケアマネさんも参加しています。そして瀬谷区は小さな区ですが地域密着型。地域のサロンや体操教室がたくさんあり、インフォーマルサービスを1冊の瀬谷福祉マップにまとめてくれる社協。包括や行政も一緒に考えてくれる頼れる味方。介護者支援の「あく手の会」ではグリーンケアや介護している家族を繋ぐ支援を。コロナ禍前は瀬谷ケアマネットで医師会・歯科医師会・薬剤師会の三師会との懇親会も毎年行われていました。困ったことがあっても一人じゃないと思える頼もしい仲間がいる地区です。

ディズニーランドとディズニーシーを合わせたより広い旧上瀬谷通信施設跡地では開発計画が進み、2027年横浜国際園芸博覧会が開催されます。皆さん是非来てください。



ケアマネあるある



ご利用者様からの相談で、「訪問診療をお願いしたい」と言われて戸惑ってしまったことはありませんか?私がこのように時に思い出すのが、医療連携についての研修で講師だった医師の先生から言われた、ある言葉です。それはかかりつけの先生に「先生に家に来ていただくことができますか?」とご利用者様・ご家族様から聞いてもらうことです。医師の先生たちは患者を最期まで診たいと思っています。そのため、患者からも今後も診てほしいという意思を伝えられるよう、「今後も先生に診察してもらいたいのですが、歩くのが大変で通えなくなってしまいました。先生に家に来てもらうことはできますか」等と伝えるのです。すると先生は、もし訪問してもらえるのであれば了解くださいますし、訪問できない場合は、責任を持って次の先生につないでくれるということです。そこで具体的に次の先生が決まらず、「訪問診療の先生をケアマネジャーさんに探してもらったら」と言われたら私たちの出番です。受けてもらえる訪問診療先が決まり、かかりつけの先生にお伝えすれば、快く次の先生への紹介状を書いてもらえるのではないのでしょうか。

広報出版委員 (S)

編集後記

令和5年度より、新体制となった広報出版委員会の最初のケアマネ通信、お楽しみいただけましたでしょうか。今号からの新しい取り組みとして、ケアマネ通信のアンケートページを作成いたしました。記事の感想や、取り上げてほしい・知りたい情報など、会員の皆様のご意見を募集し、今後の記事作りの参考にさせていただきます。QRコードからアクセスできますので、お気軽にお寄せください。

この度委員長を務めさせていただくにあたり、過去の広報出版委員会では、地域の連絡会の活動取材したりと、より会員

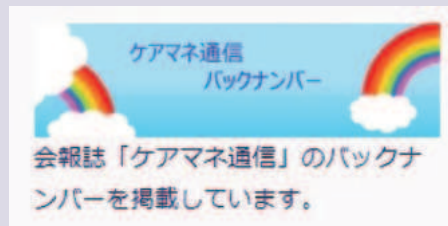
の皆様に身近な活動をしていたと聞きました。コロナ禍から立ち直りつつある状況で、皆様と直接お会いできたらなと楽しみにしております。

広報出版委員長 佐藤



■ケアマネ通信 アンケートご協力のお願い

今後のケアマネ通信がより良いものになるよう、アンケートを実施しております。
当協会ホームページ「ケアマネの森」のトップページ「ケアマネ通信バックナンバー」より、アンケート（Google フォーム）にご協力ください。
<https://www.care-manager.or.jp/iinkai/kouho.html>



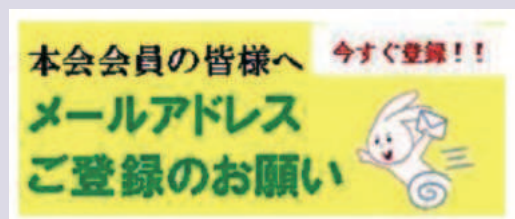
お手持ちのスマートフォンからも、ご回答いただけます。



会員の皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしています。

■メールアドレス登録のお願い

会員の皆様へ、本会主催研修会等の情報をメールでご案内しています。
メールアドレスの登録がお済みでない方は、当協会ホームページ「ケアマネの森」のトップページ「メールアドレスご登録のお願い」より登録をお願い致します。
メールアドレスを変更したい方も、こちらから変更をおこなってください。



Contact

一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会 事務局
〒231-0023
横浜市中区山下町 23 番地 日土地山下町ビル 9 階
TEL 045-671-0284 FAX 045-671-0287
E-mail jimu@care-manager.or.jp
H P <https://www.care-manager.or.jp/>